

堺市こころの健康センター所報

第 4 号

(平成21年度実績)

堺市こころの健康センター

はじめに

わが国が2007年9月に署名した「障害者の権利に関する条約」を締結するために必要な国内法の整備や、今後の障害者に係る制度の改革のため、内閣に障がい者制度改革推進本部が設置され、同会議の中で、これまで様々な議論がなされてきています。また、2010年1月7日には、自立支援法違憲訴訟を巡り、原告団と厚生労働省との間で基本合意文書が締結され、「速やかに応益負担（定率負担）制度を廃止し、遅くとも平成25年（2013年）8月までに、法を廃止し新たな総合的な福祉法制を実施する」と明記されました。自立支援法に替わる障害者総合福祉法（仮称）が検討されるとともに、厚生労働省の「新たな地域精神保健医療体制の構築に向けた検討チーム」においてもわが国が抱える諸問題について議論がすすめられています。インターネットでも会議のとりまとめの資料が公表されており流れを知ることができます。

議論されている内容には、精神保健福祉の現場で日々直面させられている問題を多く含んでいます。精神科病院における長期社会的入院、地域移行支援、アウトリーチ支援、ひきこもり問題、精神科医療従事者の少なさ、認知症患者の精神科病院入院の問題、精神障害者の身体合併症問題、そして精神保健福祉法における保護者の問題など、いかに取り組むべき課題が山積しているのかが伺えます。しかしこうした制度の谷間の中でも、堺市の各区の障害者自立支援協議会では、試行錯誤をしながらではありますが、地域における相談機関が、顔の見える関係で連携し取り組み、それぞれの区の特徴が出てきています。

堺市こころの健康センターにおきましても、従来から行っております、ひきこもり、薬物相談、そして自死遺族相談などの専門相談に加え、さらにひきこもりへの支援を充実させるべく、ひきこもり地域支援センターの設置に向けて準備を進めてまいります。まだまだ、取り組むべき課題が多い精神保健福祉領域ではございますが、今後も引き続きまして、皆様方のご理解、ご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成23年2月

堺市こころの健康センター
所長 森川将行

目次

はじめに

I 堺市こころの健康センターの概要

1 施設	1
2 組織と職員数	3

II 事業概要と業務実績

1 専門相談・診療事業	4
2 教育研修事業	8
3 普及啓発事業	12
4 技術支援事業	16
5 組織育成事業	17
6 精神医療審査会・自立支援医療（精神通院医療）及び精神障害者保健福祉手帳の判定	18

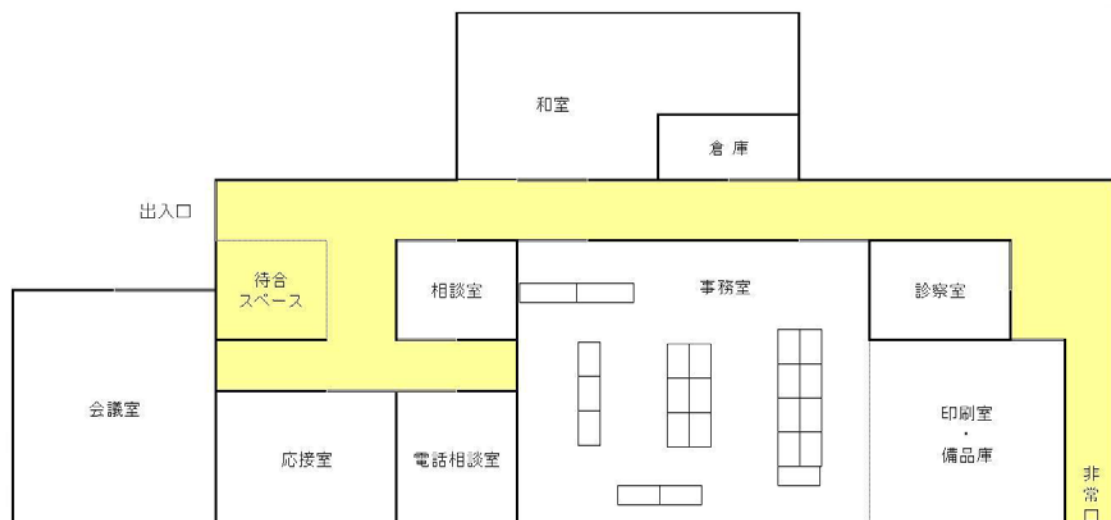
I 堺市こころの健康センターの概要

1 施設

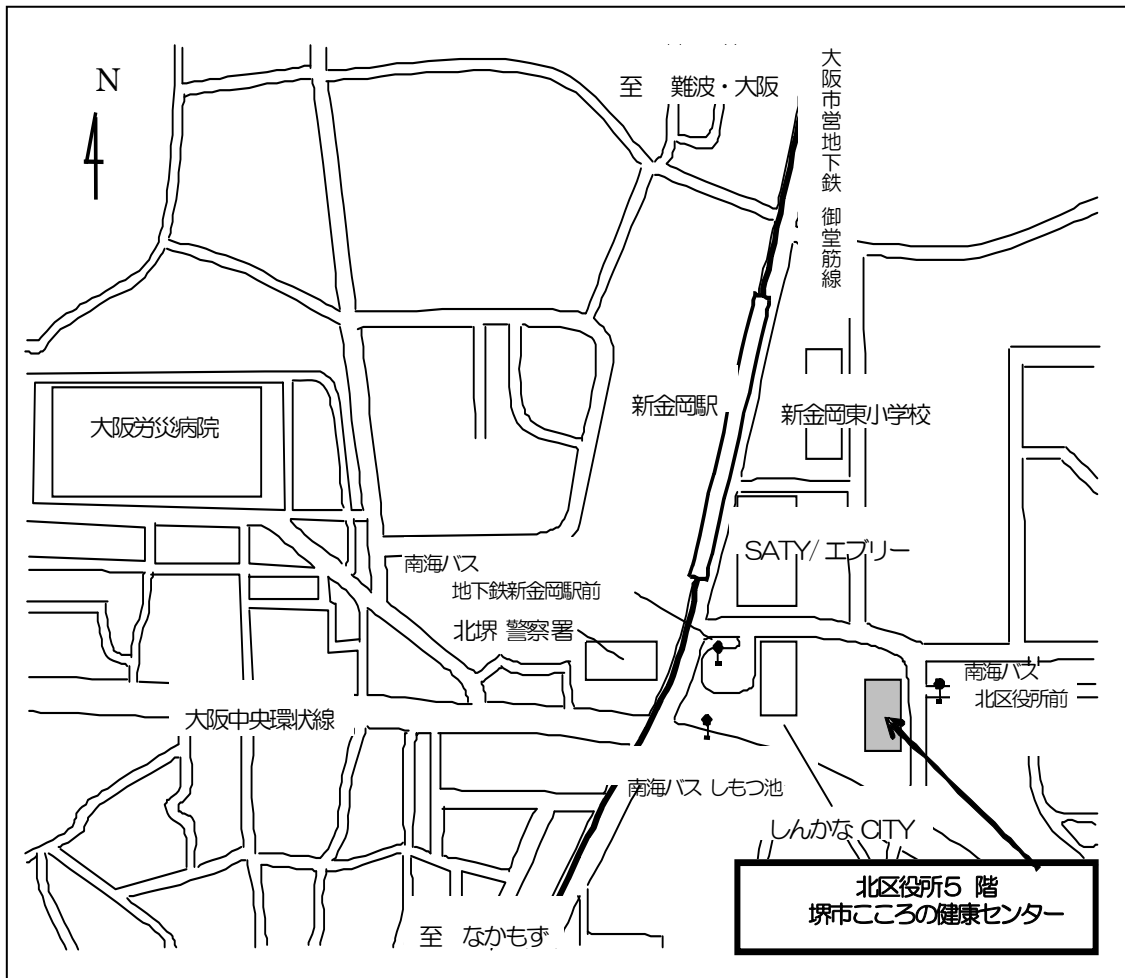
1-1 外観



1-2 平面図



1-3 所在地



〔住所〕〒591-8021 堺市北区新金岡町5-1-4 北区役所5階

〔電話〕072-258-6646 (代表)

072-258-6410 (こころの電話相談)

〔FAX〕072-258-6632

〔アクセス〕 地下鉄御堂筋線新金岡駅 2号出口 東へ200m

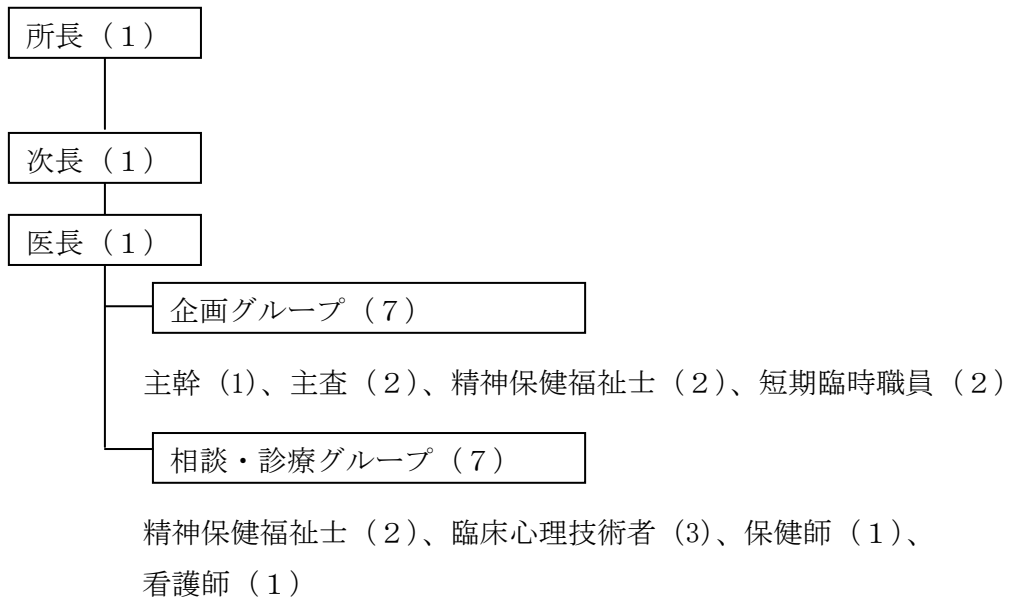
南海バス 北区役所前下車 徒歩1分

南海バス 地下鉄新金岡駅前下車 徒歩2分

南海バス しもつ池下車 徒歩4分

2 組織と職員数

2-1 組織（平成21年4月1日現在）



2-2 職種別職員数（平成21年4月1日現在）

	医師	精神保健福祉士	臨床心理技術者	保健師	看護師	事務職
所長・次長・ 医長	2	1				
企画G		2 内非常勤職員 1		1		4 内短期臨時職員 2
相談・診療G		2	3 内非常勤職員 1	1	1 内非常勤職員 1	

電話相談員・・・4名（1日1名・当番制）

Ⅱ 事業概要と業務実績

1 専門相談・診療事業

1-1 専門相談

精神保健及び精神障害者の福祉に関する相談及び指導のうち、複雑または困難な事例に対する相談業務を行った。

(表1) 専門相談事業 件数

		延べ件数	実件数
全体		3,150	363
再 掲	ひきこもり専門相談	1,364	143
	薬物依存専門相談	81	24
	自死遺族専門相談	31	12

1) ひきこもり専門相談

ひきこもり状態にある本人及び関係者に対し、本人の孤立・深刻化等を防ぐために、個別の相談支援を行った。また、ひきこもりという状態像のため本人の来所が困難な場合は、個別の状況に応じて関係機関と連携し、家族や関係者の来所相談・本人への訪問相談を行った。対象は、おおむね15歳以上で、自宅以外での生活の場が失われている状態にあり、明らかな精神疾患の存在が認められない本人及び家族・関係者とした。また、集団活動を通して社会への不安の軽減、対人関係認識の向上を図ることを目的としてグループワーク活動を開催したほか、ひきこもりについての理解を深め、本人へのかかわり方についての工夫を見出すために家族教室を開催した。(家族教室の実績は、5. 組織育成の表5に記載。)

(表 1-1-1) グループワーク「スペースしんかな」活動内容

回数	場所	内容	回数	場所	内容
第1回	大泉緑地	大泉緑地でおもいきり体を動かそう！	第14回	会議室	ヘンプで手作りアクセサリーを作ろう
第2回	北図書館	書架整理ボランティア(オリエンテーション)	第15回	大泉緑地	バーベキュー
第3回	会議室	餃子&チャプチェ作り	第16回	会議室&和室	キャップハンディ体験
第4回	会議室	またまたオリジナルTシャツを作ろう！	第17回	金岡公園(大)	バドミントン
第5回	愛和ハウス(農園)	もず農園での農作業ボランティア	第18回	会議室	講座「おいでよ堺へ」
第6回	会議室	おすすめ！エコライフ	第19回	会議室	ペーパークラフト
第7回	会議室	卓球	第20回	大泉緑地	やきいも
第8回	堺市都市緑化センター	「樹木と対話する教室」に参加しませんか？	第21回	会議室	Tシャツ作りで交流しよう！
第9回	会議室	手作りキャンドルを作ろう！	第22回	会議室	健康講座～自分の身体を知ろう～
第10回	会議室	カードゲーム選手権大会	第23回	会議室	クリスマスケーキを作ろう！！
第11回	会議室	聞いてみよう！！映画の裏話	第24回	金岡神社ほか	古樹めぐり
第12回	会議室	そうめん&杏仁豆腐作り	第25回	会議室	お香を作ろう
第13回	ハピネス金岡	喫茶ボランティア	第26回	会議室	たこ焼き作り

2) 薬物依存専門相談

覚せい剤、麻薬等の違法薬物の依存の問題で困っている本人及び家族等を対象に、個別の状況に応じた支援を関係機関との連携や精神科医等による相談（毎月1回定例実施）により行った。

3) 自死遺族専門相談

大切な人を自殺で亡くした遺族等を対象に、個別の状況に応じた心理カウンセリング（毎月1回定例実施）によるこころのケアを実施したほか、医療機関や遺族会等の情報提供を行った。

1-2 専門外来診療事業

公的医療機関として一般精神科では対応困難な、ひきこもりと高機能広汎性発達障害の特定外来診療を予約制で行った。

(表 1-2-1) 件数

	件数
延べ件数	24
実件数	4

(表 1-2-2) 診断名

診断（重複診断あり）	件数
広汎性発達障害	9
特定不能の広汎性発達障害	2
転換性障害	1
解離性障害	1
保留	2
合計	15

1-3 こころの電話相談

こころの病に対する偏見は依然として強く、適切な精神科医療機関及び相談機関に関する情報は充分ではない。電話の利便性の高さや匿名性を生かして、よりスムーズな医療・相談機関等の情報提供を行うとともに、精神障害者の生活相談に即応することを目的として、電話相談を実施した。

専用回線（1回線）により、専従の電話相談員（有資格者）が、土・日・祝日・年末年始を除く9:00～12:30、13:30～17:00の間、対応している。

また、電話相談における常連通話者（リピーター）や困難事例への対応の検討、及び相談技術の向上、社会資源の情報の更新等を目的に、電話相談員の連絡調整会議を年3回実施した。また、困難事例への対応等を目的に電話相談員へのスーパービジョンを14回実施した。

(表 1-3-1) 件数 (相談日は 244 日)

	件数	日平均
全体	2,817	11.6
(内新規相談)	957(33%)	4.0
(内リピーター)	1,860(66%)	7.7

(表 1-3-2) 相談時間 (分)

	件平均	最長
全体	15.7	150
新規	18.6	113
リピーター	14.2	150

(表 1-3-3) 電話相談

してきた人の内訳

相談者	件数	割合
本人	2,434	86.4%
家族	286	10.2%
関係者	30	1.1%
不明	67	2.3%

(表 1-3-4) 相談内容

内容	件数
老人精神保健	191
社会復帰	92
アルコール	11
薬物	7
思春期	78
心の健康づくり	1,550
その他	888

2 教育研修事業

2-1 新任者研修

精神保健福祉相談関係機関で相談業務に従事する原則1年未満の職員を対象に、精神障害に関する基礎的な知識と基本的な技術の習得を目的として研修を行った。

(表 2-1) 新任者研修 実施実績

実施日	平成21年5月12日～15日（4日間）
場所	こころの健康センター会議室他
内容 (講師)	① 堺市における精神保健福祉の歴史（精神保健福祉士） ② HCにおけるPSW業務の実際（精神保健福祉士） ③ 精神疾患の基礎知識（医師） ④ 当事者と家族の思い（出前はあと：谷口 弘樹氏 堺のぞみの会：林 信子氏） ⑤ 地域活動支援センター業務の実際（支援センターうてな：末永 久志氏） ⑥ 施設見学と講義（おべんとハウス愛：斎藤 慶子氏 アンダンテ就労ステーション：森 克彦氏 浅香山デイケアサロン：森泉 智男氏） ⑦ 精神科病院における精神保健福祉相談員業務の実際（阪南病院：福本 智恵美氏 浅香山病院：佐古 真紀氏） ⑧ 精神保健福祉援助技術について（桃山学院大学 栄 セツコ氏） ⑨ 援助職のストレスケアについて（臨床心理技術者）
参加人数	延97人

2-2 現任者研修

精神保健福祉相談関係機関で相談業務に従事する職員を対象に、精神障害に関する理解を深め支援の技術を向上させることを目的として研修を実施した。

(表 2-2) 現任者研修 実施実績

実施日	平成 2 1 年 7/29, 7/30, 7/31, 10/16, 10/30, 平成 2 2 年 1/29, 2/3
場所	こころの健康センター会議室
内容 (講師)	① 効果的な相談を行うために～ロールプレイでの学びと気づき～ (大阪府立大学：准教授 山中 京子氏) ② 効果的な相談を行うために～価値のワーク～ (大阪府立大学：准教授 山中 京子氏) ③ 援助職のためのメンタルヘルス (こころの健康センター所長) ④ 私をはぐくむ‘援助’という仕事 (こころの健康市民サポートセンター：大石 雅氏 阪南病院医療福祉相談室：阪口 久喜子氏 北保健センター：松本 昌幸氏)
参加人数	延 1 4 3 人

2-3 相談員研修

保健センターの精神保健福祉相談員を対象に、ケースワーク技術の向上、相談員間の情報共有と連携を図るため、ディスカッション・ワークショップ的手法を取り入れた参加型研修を実施した。

(表 2-3) 相談員研修 実施実績

実施日	内容	参加人数
4月27日	労務課健康管理室における精神保健福祉業務、精神保健福祉課いのちの応援係について他	延べ 127人
6月19日	使える社会資源を共有しよう！！	
7月17日	老年期に生じる精神障害について	
8月21日	精神保健福祉相談員のための生活保護研修	
9月25日	問題提起事例検討	
10月16日	こころの健康センターの業務について	
11月20日	各保健センターのグループワークについて	
1月15日	就労に関する社会資源 (ハローワーク、障害者職業センター、障害者就労・生活支援センター) について	
2月19日	困難事例について先輩からアドバイスをもらいましょう	
3月19日	いつもは一人で抱え込んでるプランニング・・・(涙) 今回はみんなでやってみよう	

2-4 講師派遣研修

精神保健福祉関係機関や精神保健福祉に関心のある団体等からの要請により所内の専門職を派遣した。

(表 2-4) 講師派遣実績

実施日	対象	内容	講師	参加人数
5月8日	大阪弁護士会	自殺未遂者への援助について	医師	10
7月16日	堺市脳損傷協会	保健センター・こころの健康センター業務について	精神保健福祉士	20
9月9日	東地域包括支援センター	精神障害者との関わり方(精神疾患の基礎知識、薬について)	医師	40
9月16日	南区宮寿老人クラブ	高齢者のストレスケアと精神障害	医師	30
10月16日	大阪障害者職業能力開発校	就労やストレスとその対処法について	医師	119
10月16日	堺市民生児童委員連合会・障害者福祉委員会	精神科病院に於ける社会的入院患者の現状と今後の方向	精神保健福祉士	15
10月27日	堺市人権教育推進協議会・東区推進委員研修会	認知症に悩む方とその家族について	医師	28
10月29日	東区域高齢者支援ネットワーク・高齢者虐待防止研修会	医師から見た高齢者虐待の実態	医師	50
11月4日	たんぼぼクラブ	精神障害者をどのように理解し支援するか	精神保健福祉士	15
11月10日	相談支援従事者初任者研修	ケアマネジメントについて	精神保健福祉士	50
11月24日	堺市人権教育推進協議会・北区推進委員研修会	認知症に悩む方とその家族について	医師	62
11月28日	堺市セカンドステージ応援団運営協議会	こころの病の理解とつきあい方	精神保健福祉士	30
12月8日	堺区ケアマネージャー連絡会	認知症を理解する	医師	80
12月16日	ヘルパー交流会	新しいうつ病を中心に	医師	30

12月21日	社会福祉協議会・登録型生活支援員養成講座	精神障害者の理解とその支援	精神保健福祉士	45
12月22日	堺市民生児童委員連合会・介護相談員研修会	認知症高齢者とのコミュニケーションについて	精神保健福祉士	15
1月13日	東地域包括支援センター	精神障害者との関わり方(精神疾患の基礎知識、薬について)	医師	40
1月19日	堺市グループホーム連絡会	認知症を理解する	医師	58
2月4日	堺市民生児童委員連合会・理事研修	精神障害者の生活、病院から退院者の状況を含めて	精神保健福祉士	21
2月7日	堺市障害者自立支援協議会ワークショップ	発達障害への理解と正しい支援について	精神保健福祉士	50
2月13日	大阪精神科病院協会シンポジウム	認知症医療の地域ネットワークづくりを考える	医師	100
2月17日	西区自立支援協議会	支援者のためのメンタルヘルス	臨床心理技術者	100
2月25日	堺市医師会・かかりつけ医認知症対応力向上研修	労働者のうつ病・自殺の予防	医師	82
合計(23回)				1,090

2-5 学生実習

精神保健福祉士養成機関の学生を、大阪府との調整により4校、6人を受け入れて、実習を各保健センターで行った。(オリエンテーションは大阪府と共同で実施)。また、医科大学生については、こころの健康センターで実習を行った。

(表 2-5) 学生実習受入実績

学校名	人数	日数	実習場所
大阪国際福祉専門学校	2	15	堺 HC・美原 HC
大阪保健福祉専門学校	1	18	中 HC
大阪健康ほいく専門学校	2	12	南 HC・北 HC
大阪人間科学大学	1	18	西 HC
奈良県立医科大学	6	2	こころの健康センター

3 普及啓発事業

3-1 精神保健福祉セミナー

広く市民に精神保健福祉に関する正しい知識の普及・啓発を行い、こころの健康についての関心を促すことによって、ノーマライゼーションの理念の実現を図り、こころ豊かなまちづくりを市民の側から進めるきっかけとすることを目的として企画開催した。企画・運営は、市内関係各機関で構成された実行委員会により実施した。

(表 3-1) 精神保健福祉セミナー開催実績

名称	第 16 回堺市精神保健福祉セミナー 「同じ空の下で・・・」～この街で共に生きる～
開催日	平成 21 年 11 月 21 日 (土)
場所	アリオ鳳グリーンコート
主催	第 16 回堺市精神保健福祉セミナー実行委員会
内容	・パペット (腹話術人形) と障害者の交流 ・新井 宗平さん (元「NHK 歌のおにいさん」) と山本 和美さん (元「NHK 歌のおねえさん」) によるコンサート
参加者	約 200 人

3-2 ハッスル運動会 (堺市精神障害者地域交流運動会)

堺市内の医療機関もしくは社会復帰施設等を利用する精神障害者やその家族、関係機関の職員及びボランティアを含めた市民等が相互に交流することにより、精神障害者への理解を深め、精神障害者の社会参加を促進するとともに、地域のネットワークづくりの構築を推進することを目的として開催を企画したが、開催当時は新型インフルエンザが流行していたため中止とした。なお、実行委員会を 4 回開催した。

3-3 家族講演会

精神障害者の家族を対象に精神障害についての研修を行い、家族の不安を軽減するとともに、交流の機会を設け、孤立を防止することを目的として、開催した。

(表 3-3) 家族講演会実績

名称	精神障害者家族講演会
開催日	平成 22 年 3 月 27 日
場所	堺市総合福祉センター
内容	講演「薬と家族の対応～主な精神障害に対する今日の治療について～」 講師 花尾 晋一 氏 (はなまるメンタルクリニック院長)
参加者	84 人

3-4 出前講座

堺市教育委員会が企画している「どこでもセミナー～堺市生涯学習まちづくり出前講座～」に「こころの健康講座～ストレスと上手につきあうコツ～」、「簡単うつ病講座～身近なうつ病、気づいていますか？～」の2つの講座メニューを登録し、こころの健康づくりに関する知識の普及・啓発を行った。

(表 3-4) 出前講座実績

内容	実施回数	参加人数
こころの健康講座～ストレスと上手につきあうコツ～	10	延べ 479 人
簡単うつ病講座～身近なうつ病、気づいていますか？～	8	延べ 272 人
合計	18	751

3-5 講師派遣

精神保健福祉関係機関、精神保健福祉に関心のある団体等からの要請により専門職を派遣した。

(表 3-5) 講師派遣実績

実施日	対象	内容	派遣講師	参加人数
4月6日 4月8日	堺市職員公務員基礎 研修	メンタルヘルスに ついて	医師	100 100
4月9日	障害程度認定区分調 査員研修	精神障害者をどう 理解し支援するか	精神保健福祉士	24
4月14日	いのちの応援係研修	自殺未遂者への対 応について	医師	10

4月16日	障害福祉関係新任職員研修	精神障害者の特性について	精神保健福祉士	30
4月24日	人権ふれあい講座(前期)	精神障害をどう理解し支援するか	精神保健福祉士	250
7月3日	堺市保育所職員研修	心の病の理解について	医師	45
7月17日	堺市相談員研修	老年期に生じる精神障害について	医師	14
8月4日	認知症キャラバンメイト養成	認知症を理解する	医師	80
10月9日	人権問題推進者養成研修	心の病の対応と支援について	精神保健福祉士	30
11月11日	堺市高齢者教養大学	物忘れと生活習慣	医師	100
11月16日	障害程度区分認定調査員研修	精神障害者の障害特性について	精神保健福祉士	20
1月17日	堺市障害者スポーツ指導者講習	障害者の理解とスポーツ(精神障害)	精神保健福祉士	50
合計(13回)				853

3-6 機関誌の発行

堺市こころの健康センター通信(機関誌、愛称『こころ♡さかい』)を年2回発行し、市内各区の図書館、区役所の市政情報コーナーなど市民が利用することの多い場所に配架した。

(表3-6)「こころ♡さかい」発行実績

発行年月	通算	発行部数	主な内容
平成21年7月	第10号	3,000部	ひきこもりへの理解
平成22年2月	第11号	3,000部	第16回堺市精神保健福祉セミナー

3-7 啓発冊子の作成

精神的健康の増進、精神疾患に対する正しい知識の普及を目的として冊子を作成し、各区の保健センターへ配架した他、講演会、イベント等で配布した。

(表 3-7) 啓発冊子発行実績

名称	発行部数
自死遺族相談案内	4,000 部
ストレスとつきあうコツ	15,000 部
うつ病ってなに？	15,000 部

3-8 ホームページ

精神障害者に対する支援制度、利用可能な資源、精神疾患に関する知識、研修会、講演会等の開催情報など、こころの健康センターのホームページに掲載した。

URL: http://www.city.sakai.lg.jp/city/info/_hoken/kokoroken.html

4 技術支援事業

4-1 関係機関への相談支援

市内各区の保健センター及びその他の相談機関が実施している精神保健相談業務に対して、技術支援を行った。地域相談事業の主体機関である保健センター相談業務に対しては、セカンドオピニオン的に機能することで側面からの支援を行った。21年度の実績は、保健センターに対して4回、相談機関に対して3回であった。

4-2 事業への技術支援

精神障害者の福祉向上施策の推進のためには、関係機関との連携が不可欠なことから関係機関が実施・主催する連絡会議、ケース会議等に積極的に参加し、情報共有を図りながら、こころの健康センターの専門性を生かした技術支援・技術指導を行った。

(表4) 技術支援・技術指導 実績

事業	実施主体	内容	回数
社会適応訓練事業	精神保健福祉課、堺市障害者就業・生活センター	運営懇話会への出席、新規協力事業所の開拓及び調査、実務担当者会議への出席、研修会への協力	10
医療観察法関連事務	大阪保護観察所	会議参加、医療観察法勉強会	13
地域生活支援事業	障害福祉課	堺市障害者自立支援協議会及び各区障害者自立支援協議会への出席	95
堺市地域福祉権利擁護事業	社会福祉協議会	契約締結審査会への出席	6
自殺防止対策事業	精神保健福祉課	自殺対策連絡懇話会、庁内連絡会への出席	3
病院実地指導	精神保健福祉課	市内精神科病院の実地指導立会い	5
合計			132

5 組織育成事業

市民の精神保健福祉の向上を図るために、地域住民による組織活動に対して支援を行った。

(表 5) 組織育成事業 実績

対象	回数
堺のぞみの会（家族会）	12
ひきこもり家族教室	3

6 精神医療審査会・自立支援医療（精神通院医療）及び精神障害者保健福祉手帳の判定

6-1 精神医療審査会

精神保健及び精神障害者福祉に関する法律に基づき、精神医療審査会事務局を設置し、精神医療審査会を開催している。合議体は2合議体で、平成21年度は合議体を24回開催した。

(表6-1-1) 審査委員内訳

委員	人数
精神保健指定 医	6 予備委員1名含む
弁護士	2
学識経験者	3

(表6-1-2) 届出書類件数

届出書類	件数
医療保護入院者の入院届	2,090
医療保護入院者の定期病状報告書	943
措置入院者の定期病状報告書	15

(表6-1-3) 退院および処遇改善請求

	件数
請求電話架電数（延べ）	159
受理	47
年度内審査完了件数	16
取り下げ	20
要件消失	6
審査結果次年度繰越	5

(表6-1-4) 請求者の入院形態

入院形態	件数
措置入院	2
医療保護入院	44
任意入院	1

*退院と処遇改善の同時請求は1件として計上

(表6-1-5) 請求内容別審査結果

請求内容		審査結果				
		入院を 継続	入院形態 の変更	退院命令	処遇妥当	処遇改善
退院請求のみ	16	16	0	0		
退院請求と 処遇改善請求	2	0	0	0	2	0
処遇改善請求のみ	1				1	0

*21年度中に審査結果が出たものを計上

6-2 自立支援医療（精神通院医療）及び精神障害者保健福祉手帳の判定

1) 自立支援医療(精神通院)支給判定業務

自立支援医療(精神通院)支給にかかる診断書の判定業務を行った。

(表 6-2-1) 自立支援医療(精神通院)判定件数

判定	件数
承認	10,947
不承認	0
合計	10,947

2) 精神障害者保健福祉手帳判定業務

精神障害者保健福祉手帳の申請にかかる診断書の判定業務を行った。

(表 6-2-2) 精神障害者保健福祉手帳判定件数

判定	件数
承認	1,832
不承認	4
合計	1,836

堺市こころの健康センター所報 第4号（平成21年度実績）

編集・発行 堺市健康福祉局健康部こころの健康センター

〒591-8021 堺市北区新金岡町5-1-4 北区役所5階

TEL 072-258-6646 FAX 072-258-6632